

事故発生時の対応

トラブル発生時の対応要領について示す。

1 資機材トラブル

(1) プロペラへの巻きつき

- ① エンジンをチルトアップする
- ② プロペラを水面に出し、異物を取り除き、プロペラをフリーにする。

(2) 各種エンジントラブル

セルモーターが回る場合

- ① ロックプレート・キーが正しく差し込まれているか確認する。
- ② バッテリーの充電又は取替え

セルモーターが回らない場合

- ① リモコンが中立になっているか確認する。
- ② 燃料の有無と燃料バルブの開閉を確認する。
- ③ 燃料フィルターを確認し、異物がある場合は除去する。
- ④ 燃料経路を確認し、ホースのつぶれ等がある場合は修正する。
- ⑤ 点火プラグの取り付け状態を確認する。
- ⑥ 点火プラグの電極を確認し、先端が濡れている場合はきれいな布で拭き取る。
- ⑦ 点火プラグを取り付け、フューエルパイプジョイントを船外機から外し、スターターロープを引き、エンジンを始動させる。
- ⑧ エンジンがかかったら、燃料ホースをつなぐ。

オーバーヒート

- ① 冷却水取り入れ口に異物がないか確認する。
- ② ①で異物が無い場合は、ヘッドシリンダーを触り、熱くなければ（60℃～80℃程度）、冷却されているため、吐出口のつまりを確認する。
- ③ ヘッドシリンダーが異常に熱い場合は、エンジンが冷却されていないため、すぐにエンジンを停止させる。

(3) エア漏れ

IRBのエア漏れ

<沈没の可能性がない場合>

- ① エンジンを停止させ、浸水箇所、破損状況の程度を調べる。
- ② 破損部が小さい場合、応急処置、排水などの対策を講じ、安全な位置へ移動する。

<沈没の可能性のある場合>

- ① エンジンを停止させ、浸水箇所、破損状況の程度を調べる。
- ② 破損部が大きく沈没の可能性のある場合、無線等により救助を求める。
- ③ 近くに浅瀬等がある場合、そこまで航行し乗り上げる。
- ④ 近くに退避できる場所が無く、すぐに救助の期待が無いときは、救命胴衣を確実に着け、退船する。
- ⑤ 船等の浮力があるものがある場合は、これに掴まり、浮いて救助がくるのを待つ。

2 活動時のトラブル

(1) 転覆

- ① IRB の横にある船体引き起こしロープをたぐり持って IRB の横に立つ。
- ② 自分たちの体重をかけて船体引き起こしロープを引き、IRB をひっくり返し復元させる。

(2) 落水

- ① 落水者は呼吸を確保し、浮いて待つとともに落水したこと及び自分の位置を乗船者へ伝える。
- ② 乗船員は落水者を確認した場合、他の乗船員へ周知するとともに落水者へ浮力体を投げ渡す。
- ③ ドライバーは落水者が出た場合、直ちにエンジンを停止し、レバーを中立にする。
- ④ 落水者側に舵を一杯にきり、スクリューを落水者から離し、安全な距離をとる。
- ⑤ 落水者の見失うことなく常に位置を確認し、救出に向かう。

(3) 座礁

- ① 直ちにエンジンを停止する。
- ② 座礁の箇所の損傷の有無を確認する。

③ 浸水が無い場合は、水深のある方向に離脱する。

※エンジンは作動させないこと。

④ 浸水が大きく脱出できない場合は、無線等により救助を求める。